

こんにちは県議会です

長野県議会広報
第95号

【党派別議員数】	定 数	58人	
自由民主党県議団	18人	日本共産党県議団	7人
改 革 ・ 緑 新	11人	トライアル信州	4人
創 志 会	10人	無 所 属	1人
県民クラブ・公明	7人		
現員58人【平成20年4月12日現在】			

◆平成20年2月定例会（2月20日～3月19日）の概要

平成20年2月定例会が開催され、知事から平成20年度一般会計予算案、廃棄物の適正な処理の確保に関する条例案、監査委員選任の人事案など64議案が提出されました。これを受け、本会議での代表質問（5会派）や一般質問（36名）、各委員会の質疑などで、当初予算案については、医師確保対策をはじめ、森林づくり県民税を活用した森林づくり、「観光立県長野」の再興などの、県の抱える喫緊の課題について、また、新設する「廃棄物の適正な処理の確保に

関する条例案」について活発に論議しました。

審査の結果、総額8,330億5,200万円余（前年度対比1.6%減）の平成20年度一般会計予算案のほか、知事提出議案を原案のとおり可決または同意しました。

委員会及び議員提出議案では「食の安全・安心の確保に関する意見書」、「第50回技能五輪全国大会及び第33回アビリンピック全国大会開催に関する決議」など15件を可決しました。

「こんにちは県議会です（政策タウンテーブル）」の意見を活かして

1月22日、中野市で行った「こんにちは県議会です（政策タウンテーブル）」では、「観光立県長野の再興にむけて」「産業廃棄物の適正処理を目指して」の2テーマについて、長野・北信地域の17市町村の首長及び議長をはじめ関係者と意見交換をしました。

いただいた主なご意見、ご提案では、観光振興について「観光ガイドや地域で観光を担う人材を育成する施策を全県的に推進してほしい」「JRと地方自治体が協力して行うキャンペーンの実施など滞留できる観光対策を実施してほしい」、廃棄物の適正処理に関しては「条例案に地元同意を盛り込まなかったことに対する賛否」「処理施設の耐久性等に関する疑問」などのほか、多くの発言がありました。

地域からのこれらの意見を活かして、今定例会前の勉強会の開催や、本会議等での質疑を行いました。



こんにちは県議会です（政策タウンテーブル）



「廃棄物条例案」付帯決議を付して可決

知事から提出された「廃棄物の適正な処理の確保に関する条例案」は、「廃棄物処理法」では十分な対応ができない産業廃棄物の不適正な処理や廃棄物処理施設の設置をめぐる住民と事業者の対立などの課題に対処するため、同法を補うための必要な規制や手続を定めるとともに、知事が施設の設置を許可する前に、両者や市町村長による合意形成

の手続の制度を導入するというものです。

本会議等では、知事が許可する際に、従前には行政指導で求めた「同意等の状況を示す」書類の添付をなくすことへの不安、条例案による合意形成が不調であった場合に知事が許可するのかどうかを質すなど、関係住民が関心を寄せる事項を中心に、集中審議等を行いました。

条例案の施行に当たり

- ①合意形成に至らない場合の紛争処理のための第三者機関によるあっせん
- ②環境保全協定の締結
- ③廃棄物の発生抑制施策の充実

などのほか、3項目の対応に努めるとの方針が示されました。

審議の結果、生活環境委員会では6項目の付帯決議を付して可決すべきものとし、本会議でも賛成多数で可決しました。



生活環境委員会の審査



観光立県長野再興に向けて

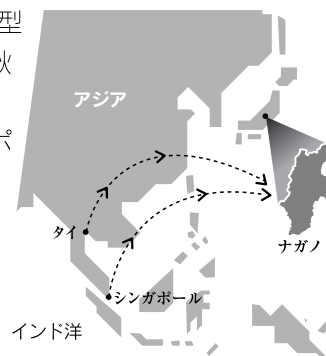
長野県観光の危機的な状況を踏まえ、観光施策を計画的かつ戦略的に推進するための計画の中で、関係者が取り組む指針が示されましたが、その具体的な内容について様々な提案等がありました。

21年春の善光寺御開帳、22年春の諏訪大社御柱祭開催後をにらみ、市町村、観光事業者等の理解が得られれば、JR6社と地方自治体が協力して行う大型キャンペーンを、22年秋

に開催することを検討したいとの答弁を得ました。

また、海外からの誘客を図るため、新たにシンガポール・タイへの働きかけを行う方針も示されました。

新たに設置される、観光地の景観対策に係る研究会においては、観光地の廃屋等に関する対応策だけでなく、観光地の景観を維持するために景観条例の改正も視野に入れて研究するよう要望しました。



医師確保対策より実効性のあるものに

医師確保対策に係わる14事業の予算案（前年比290%）が示されましたが、相次ぐ病院における診療科の休廃止という事態に対し、事業の実効性についての質問、提言等が多くありました。知事や衛生部長からは、2月に医師確保対策室を設置して専任職員を増員し、従来からの修学資金貸与事業など制度面での対策に加え、県内病院や医師会などから、より詳細な情報を得ながら、大学や医療機関への訪問の機会を増やして医師確保に全力で取り組むとの決意が示されました。同時に、医療関係者の取組だけではなく、勤務医の過重労働や増加する医療訴訟、初期救急における不要不急の救急受診など現在の医療が抱える様々な問題について、医療関係者と県民が問題の背景や実態を知り、共に考える機会としてシンポジウムを開催し、一体となって地域医療を支える機運を高めるとしました。



食の安全長野県では

相次ぐ食品偽装表示の問題や中国製ギョーザの毒物混入問題など、食の安全の確保について、活発な議論がされました。

食品衛生法等の現行法令による監視指導や検査等を厳正に実施することに加え、19都道府県にある「食品安全条例」について、本県

でも制定する考えがあるか質したところ、条例の制定については、国や他の自治体の動向を見極めながら、今後検討していきたいとの答弁がありました。

20か月齢以下の牛に対するBSE（牛海綿状脳症）検査について、国庫補助がなくなる8月以降の継続を要望したところ、県産牛肉の販売面での影響を懸念する生産者からの声もあるので、様々な観点から慎重に判断していくとの方針が示されました。



野生鳥獣による被害防止対策を確実に

野生鳥獣による被害は、農林業の生産意欲の減退につながるため、今後の県の取組等について、活発に議論しました。

これまでの野生鳥獣対策が総合性に欠けていたという認識のもと、緩衝帯整備や防護柵の設置、野生鳥獣の処理加工施設の整備、捕獲

から加工・販売までにわたる支援を行い、総合的に対策を推進するとしました。

また、145地区ある鳥獣保護区の指定解除についても、現在6地区の解除等に向けて準備を進めており、今後も地域の状況や要望を踏まえ、適切に行うとしました。

可決した議員等提出議案

行政運営

- 長野県議会委員会条例の一部を改正する条例
- 政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例

基盤整備

- 道路特定財源関連法案の年度内成立を求める意見書
- 県発注建設工事への地元生産品の優先使用を求める決議

環境

- 森林環境税の創設と森林・林業・木材産業関連施策の充実を求める意見書
- 地球温暖化対策の推進を求める意見書

安全安心

- 食の安全・安心の確保に関する意見書
- 沖縄県における米海兵隊員による少女暴行事件に関する意見書

労働・福祉

- 正規雇用の推進と派遣労働者の処遇に関する意見書
- タクシー事業の規制緩和の見直しを求める意見書
- 公共職業安定所（ハローワーク）の整理統合に関する意見書
- 生活保護制度に関する意見書

労働・福祉

- 第50回技能五輪全国大会及び第33回アビリンピック全国大会開催に関する決議
- 2016年オリンピック・パラリンピック競技大会日本開催に関する決議

消費生活

- 郵政三事業に関する意見書

議員連盟の活動を紹介します

■議員連盟…特定の目的のために党派を超えて議員が結集する組織。

- 地域医療対策議員連盟が長野県医師会長、同常務理事を講師に招いて、地域医療の実態に関する学習会を開催しました。
- 過疎・中山間地域活性化推進議員連盟が「過疎・中山間地域振興条例（仮称）制定検討調査会」の設置を決定し、第1回の調査会が開催されました。

新たに設立した議員連盟

- 【水産業振興議員連盟】
- 【スキー索道振興議員連盟】

正副議長・委員会の構成が決まりました



下崎 保



牛山 好子

委員会名	委員長	副委員長	委員														
総務企画警察	垣内 基良（自）	金子ゆかり（創）	石田治一郎（自）	萩原 清（自）	倉田 竜彦（改）	宮澤 宗弘（改）	高橋 宏（創）	宮澤 敏文（県）	小林 伸陽（共）	島田 基正（S）							
社会衛生	下村 恭（改）	太田 昌孝（県）	本郷 一彦（自）	木内 均（自）	小島 康晴（改）	向山 公人（創）	佐々木祥二（創）	毛利 栄子（共）	永井 一雄（S）								
環境商工観光	石坂 千穂（共）	下沢順一郎（改）	古田 美士（自）	平野 成基（自）	小池 清（自）	森田 恒雄（改）	高見澤敏光（創）	柳田 清二（県）	藤沢 詮子（共）								
農政林務	保科 俊教（創）	今井 敦（自）	望月 雄内（自）	風間 辰一（自）	竹内 久幸（改）	福島 鶴子（創）	小松千万蔵（県）	高村 京子（共）	小林東一郎（S）								
危機管理建設	宮本 衡司（創）	丸山 栄一（自）	服部 宏昭（自）	西沢 正隆（自）	寺島 義幸（改）	野澤 徹司（改）	清沢 英男（創）	諏訪 光昭（県）	和田 明子（共）	北山 早苗（無）							
文教企業	村上 淳（県）	高島 陽子（改）	木下 茂人（自）	村石 正郎（自）	佐藤 友昭（自）	松山 孝志（改）	小山 立（創）	備前 光正（共）	今井 正子（S）								
議会運営	木内 均（自）	高見澤敏光（創）	木下 茂人（自）	村石 正郎（自）	佐藤 友昭（自）	寺島 義幸（改）	小島 康晴（改）	向山 公人（創）	小松千万蔵（県）	毛利 栄子（共）	今井 正子（S）						
公共交通対策特別	木下 茂人（自）	小島 康晴（改）	本郷 一彦（自）	木内 均（自）	丸山 栄一（自）	今井 敦（自）	竹内 久幸（改）	下沢順一郎（改）	向山 公人（創）	宮本 衡司（創）	小松千万蔵（県）						
			諏訪 光昭（県）	藤沢 詮子（共）	高村 京子（共）	今井 正子（S）											

知事部局の組織改正に伴い、常任委員会の名称等の改正を行い「総務警察委員会」を「総務企画警察委員会」に、「商工観光生活環境委員会」を「環境商工観光委員会」に、「土木住宅委員会」を「危機管理建設委員会」に改めました。

【順不同】